

ドライブレコーダー専用オプション

# GDO-22

レーダーディテクター相互通信コード 9.0m

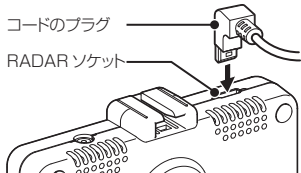
## 取扱説明書

この度は、本製品をご購入いただき誠にありがとうございます。  
本製品を正しくご使用いただくために、本書をよく読み、正しくご使用ください。  
また本書は大切に保管してください。

- ・セルスター製ドライブレコーダー専用レーダー探知機相互通信コードです。それ以外の製品に使用することはできません。
- ・本製品は 12V 車専用です。レーダーディテクターを 24V 車に接続した場合、本製品を取り付けないでください。故障の原因となります。
- ・本製品を改造し使用すると、レーダーディテクターやドライブレコーダーの故障の原因となります。
- ・本製品のケーブルは地デジのアンテナ部分（ブースター及びアンテナ線）に接触しないよう、できるだけ離して配線してください。

## 使用方法

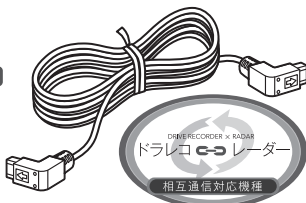
- 1 レーダーディテクターの DC コードを外し、レーダー探知機本体の電源を OFF にします。
- 2 レーダーディテクター相互通信コードのプラグをドライブレコーダー本体の RADAR ソケットに差し込みます。



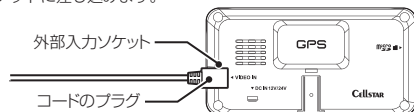
※ドライブレコーダー本体のイラストは、モデルにより異なります。

- ・プラグの向きとソケットの向きに気を付けて差し込んでください。
- ・相互通信コードのプラグをドライブレコーダーの RADAR ソケット、レーダーディテクターの外部入力ソケットに「カチッ」と音がするまで差し込んでください。隙間があると接続不良になり、映像出力やリモコン操作などができないことがあります。

12V 車専用



- 3 レーダーディテクター相互通信コードのプラグをレーダーディテクターの外部入力ソケットに差し込みます。



※レーダーディテクター本体のイラストは、モデルにより異なります。

- 4 レーダーディテクターの DC コードを差し込み、レーダーディテクター本体の電源を ON にします。

- 5 レーダーディテクターの外部入力設定をおこないます。オン（待受、警告、ドラレコ連携）に変更します。

※レーダーディテクターから電源と GPS 情報を供給し、映像をレーダーディテクターに入力できます。詳しい設定は、レーダーディテクター、ドライブレコーダーに付属の取扱説明書を参照してください。

## 使用上の注意

- ・本コードでドライブレコーダーとレーダーディテクターを接続し、レーダーディテクターのリモコンで電源を ON/OFF しても、ドライブレコーダーの電源は連動せず、供給し続けます。
- ・レーダーディテクターの電源をリモコンで OFF の状態から ON にすると、ドライブレコーダーが再起動する場合があります。
- ・レーダーディテクターの電源をリモコンで OFF にすると、ドライブレコーダーに GPS 情報の供給が OFF になります。

## アフターサービス

☎ 0570-006867 (ナビダイヤル)

☎ 0120-75-6867

携帯電話・PHS・IP 電話などフリーダイヤルがご利用にならない場合、0570-006867

## 仕様

入力電圧 : DC12V

重量 : 170g

コード長 : 9.0m

※改良のため、本製品の仕様等を変更する場合があります。あらかじめご了承ください。

※本書は、資源有効活用を目的として、環境に配慮し、大豆油インクを使用しております。



「全国自動車用品工業会会員」「ドライブレコーダー協議会会員」「東京都自動車用品組合会員」

**CellSTAR** セルスター工業株式会社

〒242-0002 神奈川県大和市つきみ野 7-17-32 TEL.046-273-1100 (代) FAX.046-273-1106